

1. 授業の概要(ねらい)

我々の日常においてPC、スマートフォンやインターネットは欠かせない。しかし、これらは、あくまで単なるハードと情報通信手段であり、実際には端末やネットワークを介してプログラムが動くことによって様々な情報サービスを我々は享受できている。しかも、最近ではインターネットやスマートフォンで提供されている様々なソフトウェアやサービスは、ブラウザ上で動くWebプログラミングにより提供されることが多い。そこで本授業では、プログラミングを体験することを目的に、Webプログラミングについての基礎知識を習得し、実際にWebプログラミングをしてもらう。プログラミングの体験を通して、現在社会の情報サービスや情報システムを読み解く基礎力を身に着けることを目指す。授業は主に演習を中心で、HTML・CSSなどを使用したWebページ作成およびJavaScript言語によるWebアプリケーションの作成をしてもらう。

2. 授業の到達目標

HTML／CSSを使ったWebデザインができるようになる。
JavaScriptによる簡単なWebアプリケーションが作成できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

出席は3分の2以上する必要がある、カードリーダーによる出席と講義内の課題の提出とセットで出席と認める。最終課題は、プログラミングによる作品とレポートを予定している。

授業ごとの出席および課題の提出(60%)
最終課題(40%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

狩野祐東 『確かな力が身につくJavascript「超」入門』 SBクリエイティブ株式会社

5. 準備学習の内容

授業内容によってはWebページ等で事前学習および課題を課す場合があり、そのための時間は確保すること。

6. その他履修上の注意事項

本授業の演習は、前の作業を前提に進んでいくため、必ず授業で課された演習は、次の授業までに終わらせておくこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション、イントロダクション
- 【第2回】 プログラミングを学ぶための前提知識
- 【第3回】 Webページを作成するための基礎知識
- 【第4回】 Javascriptの基礎知識
- 【第5回】 JavaScript①(プログラミング作成の基本操作)
- 【第6回】 JavaScript②(変数・数値・文字列)
- 【第7回】 JavaScript③(順次、繰り返し、条件分岐)
- 【第8回】 JavaScript④(乱数、関数)
- 【第9回】 HTML／CSSによるWebページを作成する①(タグと属性、テーブル、文書のメタデータ)
- 【第10回】 HTML／CSSによるWebページを作成する③(CSSによるスタイルの記述・適用)
- 【第11回】 JavaScriptを総合的なプログラミング①
- 【第12回】 JavaScriptを総合的なプログラミング②
- 【第13回】 JavaScriptを総合的なプログラミング③
- 【第14回】 JavaScriptを総合的なプログラミング④
- 【第15回】 最終課題とまとめにより学習の復習をする